

三菱パイプ用ファン（電気式シャッター付）

形名 **給気用**・居室用

V-12PSEQD4（高性能フィルタータイプ）

取付工事説明書



工事店さま用

取付工事終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- この製品は居室に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管（薄肉管）、鋼板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外から給気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 外風の強い場所（地域・高層建築物）ではシャッターがばたつくことがありますので耐風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- この製品は給気専用タイプです。
- 本体にスイッチはついていますが、天井取付けなどスイッチ操作が困難なところに取付ける場合は、壁スイッチ（システム部材のコントロールスイッチまたは市販品）の併用をおすすめします。

1. 安全のために必ず守ること

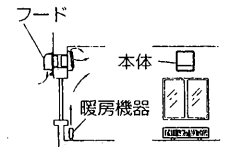
●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<p>警告 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの</p>	<p>注意 誤った取扱いをしたとき、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの</p>
<p>水ぬれ禁止</p> <p>●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。</p>	<p>禁止</p> <p>●直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない 火災の原因。</p>
<p>分解禁止</p> <p>●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。</p>	<p>浴室使用禁止</p> <p>●浴室など湿気の多い場所には取付けない 感電および故障の原因。</p>
<p>指示に従う</p> <p>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は、換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合、発火の原因。</p> <p>●交流 100V を使用する 直流や交流 200V を使用すると感電の原因。</p>	<p>指示に従う</p> <p>●電気工事は電気工事店に依頼してください 感電の原因。</p> <p>●取付けの際は手袋を着用する けがの原因。</p> <p>●部品の取付けは確実に 落下によるけがの原因。</p> <p>●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。</p> <p>●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。</p>

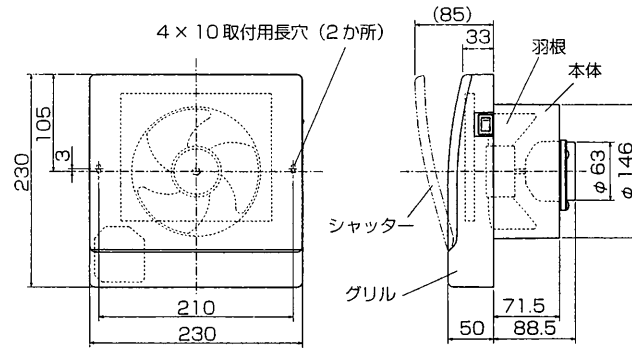
1. 安全のために必ず守ること つづき

お願い

- 高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。故障の原因になります。
- 風雨が強く下側から吹き上げがある場合は、システム部材の耐風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。振動の原因になります。
- 燃焼排ガスなどを吸込むおそれのあるところには、設置しないでください。
- スプレーをかけないでください。グリルが破損する原因になります。
- システム部材（ウェザーカバーなど）は壁厚にあったものを選んでください。壁厚により取付けられないものがあります。
- 天井および壁取付面は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 下記環境下で使用しますと、本体から結露水が滴下することがあります。（屋外温度-5℃以下で室内温度15～25℃・室内湿度45%以上）
- 冬期の場合、冷気が直接入ってきますので、図のような暖房機器を利用した設置をおすすめします。



2. 各部のなまえと外形寸法図



付属部品

木ネジ……………2本
（本体裏側にはめ込んであります）

適用パイプ

- 塩化ビニル管…VU（6番管・呼び径φ150）
- 鋼板管……（内径φ150）

単位(mm)

3. 取付方法

1. 取付前の準備

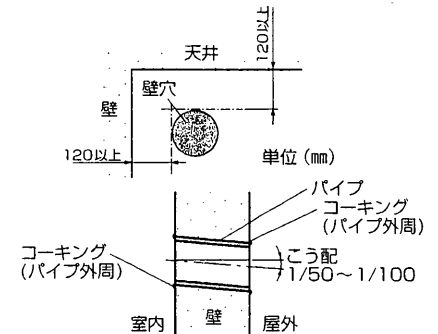
壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

- 取付け場所を決めて壁穴と電源線引出口の穴をあける。
 - 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
 - 必ず床面より1800mm以上のところに取付けてください。
- 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

 - 電源線を室内に引き込んでから（電気工事参照）行ってください。
 - 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
 - 壁内への雨水浸入を防ぐため、パイプは室内壁面まで差し込んでください。



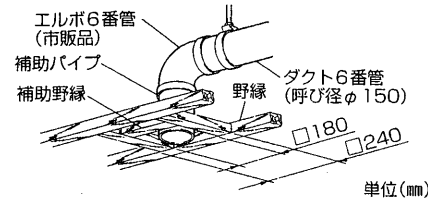
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りごう配をつけ固定してください。

天井取付けの場合

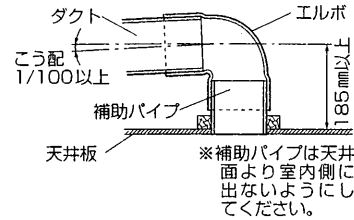
野縁工事とダクト配管

1. 左図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。



お願い

●パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。

2. 電気工事

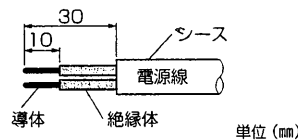
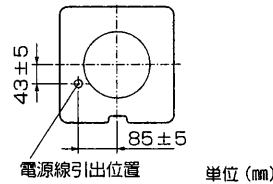
電源の接続・配線工事などは、必ず専門の電気工事店へご依頼ください。

●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。

1. 電源線を左図の位置から室内に引き込む。

電源線はVVFφ1.6、2芯をご使用ください。

2. 電源線の先端を約10mm皮むきする。



警告

●交流100Vを使用する
直流や交流200Vを使用すると感電の原因。

注意

●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
●電気工事は必ず電気工事店に依頼する
感電の原因。

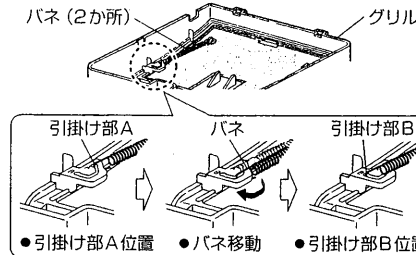
3. 取付方法 つづき

3. 本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です)

1. グリル着脱用つまみを引き、グリルを斜めに持ち上げて本体上側のグリル引掛部からはずす。

天井取付けの場合

●引掛け位置を変えてシャッター閉じ力を大きくします。
●パネを穴からはずすに、引掛け部Aから引掛け部Bに移動させます。(左右2か所)



2. 電源線を連結端子に差し込む。

●ネジをゆるめて電源線カバーをはずし、電源線を連結端子に差し込み、オレンジ色のレバーをたおして確実に接続する。
●電源線をはさまないように電源線カバーを取付ける。

お願い

●電源線は確実に連結端子に差し込みます。
皮むきした部分が端子より出ないようにしてください。
●電源線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
●電源線は本体面に密着させて配線してください。
●電源線を連結端子よりはずす場合は、レバーを開く方向に倒して電源線を引き抜いてください。
●ネジ穴が破損する原因になりますので、ネジを締めすぎないでください。

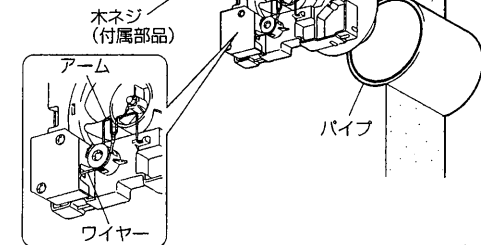
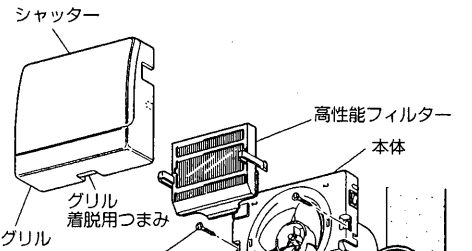
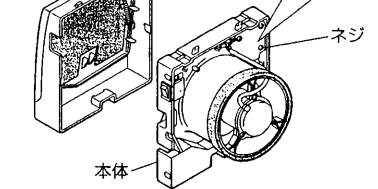
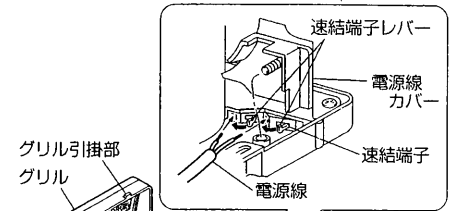
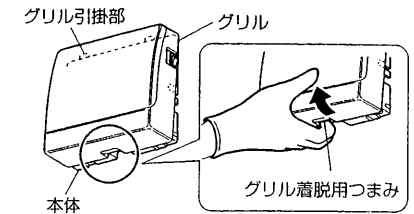
3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジ(2本)で本体を固定する。

4. グリルを本体に取付ける。

●グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。

5. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。

6. 試運転を行い、シャッターが開閉するかを確認する。



三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話 0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。